



⑦ 地表に顔出した化石探せ

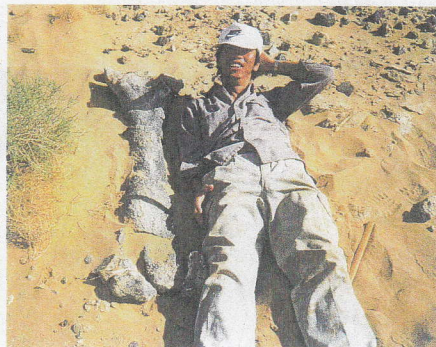
恐竜化石の産地に着いたら、道具を持って化石探しに出かけます。「地面の中の化石をどうやって見つけるの?」「地表から何センチ掘るんですか?」とよく聞かれます。

あたり前のことですが、地面の中の化石は見えません。でも、どこどこに骨や歯の一部が顔を出しています。それを見つけて出して掘るのです。目をこらして地表を探し続けるのはけっこう疲れます。「運動場に落とした10円玉を探してるみたいだ」と最初のころは思いました。

地中に続く骨を見つけたら腰をすてしゃがみこみ、慎重に掘ります。まわり

わくわくし掘り進む

大きな骨がながって見つかると、「わくわく掘り出そう」と言惑うことも(1994年8月、林原・モンゴル共同調査隊撮影)



の砂や泥を取り除くと、次々と骨がながって見つかる時があります。わくわくしながら掘り進みます。

「全身骨格が出てきたら、踊りたくなるくらいうれしいんじゃないですか?」とよく聞かれます。ええ、たいていはうれしんです。とっても。でも、それどころじゃない時もあります。それは本当に大型の骨格が出てきた時。そうなるくらいれしと「どうやって掘ろう」という戸惑いが半々。大きな骨格を掘り起こすには時間、人手と食料、費用がかかります。「今年は埋め戻して、来年大人数で掘りに来よう」ということもあるんですよ。

発掘されたバクトロサウルスは、モンゴルの首都ウランバートルで展示されている(2015年4月、モンゴル古生物学地質学研究所の許可を得て撮影)



つながって見つかったバクトロサウルスの尾の骨。この後は完全な全身骨格が見つかった(1995年8月、林原・モンゴル共同調査隊撮影)

